

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		12/7~12/14	12/14~12/21	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.023	不検出
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.017	不検出
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	0.019
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.013	0.014

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		12/7~12/14	12/14~12/21	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

この半年間の大気中浮遊じんに含まれる放射線量は、自然放射線量の変動レベル域内にありましたが、昨年後半からは、ほとんどの地点で不検出となり、健康上の影響は全くない状況が続いています。復興を加速させるためには、福島第一原発で日々生じている多核種の放射性物質を含んだ汚染水を安全に処理する必要があり、多核種除去設備(ALPS)が稼働しています。しかし、その装置で除去できないトリチウムを含むALPS処理水の処分が喫緊の問題となっています。政府には、国民がその安全性について科学的かつ論理的に納得できるよう十分な説明を行う責任があると考えます。